TOTO

TOTO株式会社

【修理を依頼する前に「故障かな？」（28～30ページ）をご確認ください。】

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒 印
販売店	電話　　－

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは

TOTO（株）お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土･日･祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理のご用命は

TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　付：年中無休
受付時間：関東･甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00-18:00

補修部品のご購入は

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日　9:00-18:00
土･日･祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

RD06238H　2007.10

TOTO

取扱説明書 保証書付

工事店様へのお願い 保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入のうえ、お客様に必ずお渡しください。また定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

小型電気温水器（先止め式）

湯ぽっと REW-Fシリーズ

REW03型　壁掛型

定期点検情報掲載

●このたびは、TOTO湯ぽっとREWシリーズをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●この取扱説明書は保証書付ですので、大切に保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。

もくじ

お使いになる前に

安全上の注意……1
各部のなまえ……6
ご確認ください……8
タンクへの給水……8
タンクを満水にした後に確認してください……9

使いかた

湯の沸かしかた……10
湯の出しかた……11
タイマー運転のしかた（タイマー付き機種のみ）……12

お手入れについて

各部のお手入れ……21
フィルターのお手入れ……22
逃し弁の作動確認……23
タンク内のお手入れ……24
長期間使用しないとき……26
凍結による破損予防について……27
停電後の対応について（タイマー付き機種のみ）……27

故障かな？

故障かな？と思ったら……28
つぎのような場合は故障ではありません……29
空焚きによる安全装置作動時のリセット方法について……30
アフターサービス……30
●保証について……30
●部品の交換について……31
●減圧弁・逃し弁の定期交換について……31
●補修用性能部品の供給期間……31
●修理を依頼されるときは……31
●修理料金のしくみについて……31
補修用性能部品について……32
仕様一覧表……32
保証書……33

お使いになる前に

安全上の注意

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。
転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。
この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

表　示	意　　味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続してください。
	電源プラグをコンセントから抜いてください。
	浴室・シャワー室など水場では使用しないでください。
	接触しないでください。
	ぬれた手でさわらないでください。

お使いになる前に

⚠警 告

分解禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない （感電や火災などの原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない （感電や故障の原因になります。）
禁　止	機器本体に水をかけない （感電や火災などの原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない （火災の原因になります。）
	指定する電源以外では使用しない （火災の原因になります。）
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない （たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない （感電・火災の原因になります。）
	電源コードをたばねたまま使わない （火災の原因になります。）
アース接続	アース（D種接地）工事がされていることを確認する （アース工事がされていないと故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。） 取り付けられていない場合は、必ずお取付工事店または、販売店に依頼して取り付けてください。
必ず実行	漏電遮断器を取り付ける （感電や火災の原因になります。）
	電源プラグの刃などについたホコリは、1ヵ月に1回程度定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む （電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。） 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

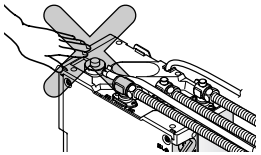
⚠警 告

必ず実行	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く （コードを引張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。）
	電源コードを折り曲げたり、重いものをのせるなど乱暴に扱わない （火災、感電の原因になります。）
ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない （感電の原因になります。）
プラグを抜く	お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く （感電の原因になります。）

⚠注 意

禁　止	タンク内に水がない時は、電源スイッチを入れない （空焚きとなり故障・事故の原因になります。） ※必ずP8の【タンクへの給水】の作業を行ってから電源スイッチを入れてください。
	湯は飲料用に用いない （下痢・腹痛などをおこす場合があります。）
	連結管など、接続配管やコードに無理な力や衝撃を加えない （水漏れ・漏電の原因になります。）

⚠注 意

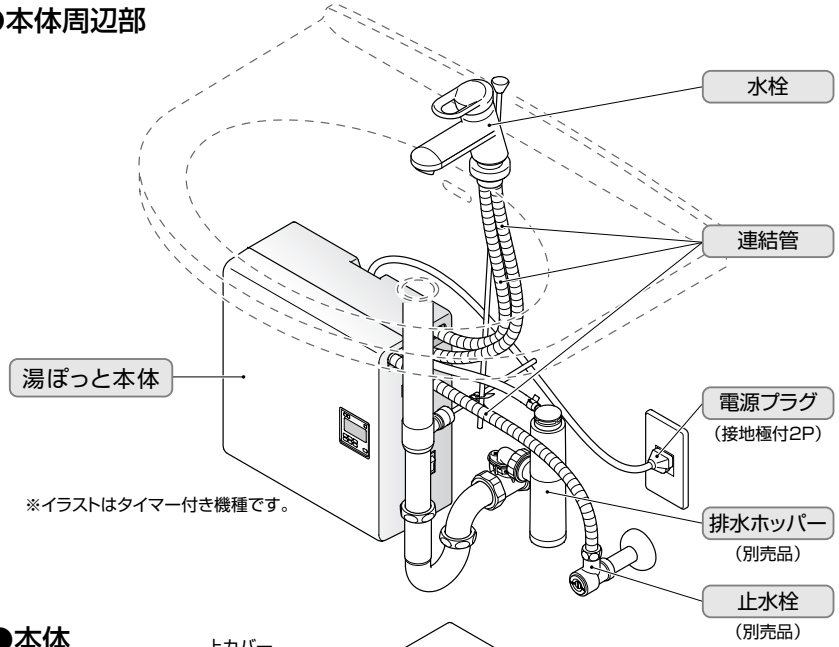
禁　止	水道水以外は使用しない （井戸水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	製品に強い力や衝撃を与えない （故障や水漏れの原因になります。）
接触禁止	排水時に熱い湯が出るおそれがあるので湯に触れない また、連結管も高温になるので触らない （やけどをするおそれがあります。）
	吸気栓に触れるときは、タンク内の湯が水になっている ことを確かめてから行う （やけどをするおそれがあります。） 
プラグを抜く	長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く （安全のために電源プラグを抜いておいてください。）
	雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜く （故障の原因になります。）

⚠注 意

必ず実行	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を 抜く（P26参照） （凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。） 凍結による破損は、保証期間内でも有料となります。
	湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す （湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、洗面器などが破損するおそれがあります。）
	月に1回、逃し弁の点検を行う（P23参照） （逃し弁が作動しないと、タンクに異常な圧力がかかり破損の原因になります。）
	出る湯（水）の量が少なくなったら、止水栓、フィルターの点検・清掃を行う（P22参照） （フィルターが詰まると、湯の量が減少したり機器の故障の原因になります。）
	減圧弁・逃し弁は消耗部品のため、必ず定期的に交換する（P31参照） （劣化により機能の低下や水漏れする可能性があり、大きな被害を与えることがあります。）
	タンク内の水を抜くときは、タンク内の湯が水になっていることを確かめてから行う （やけどのおそれがあります。）
	ご使用の際、配管の周り（キャビネット内、点検口内を含む）を見て 水漏れがないか確認する （部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、 家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）

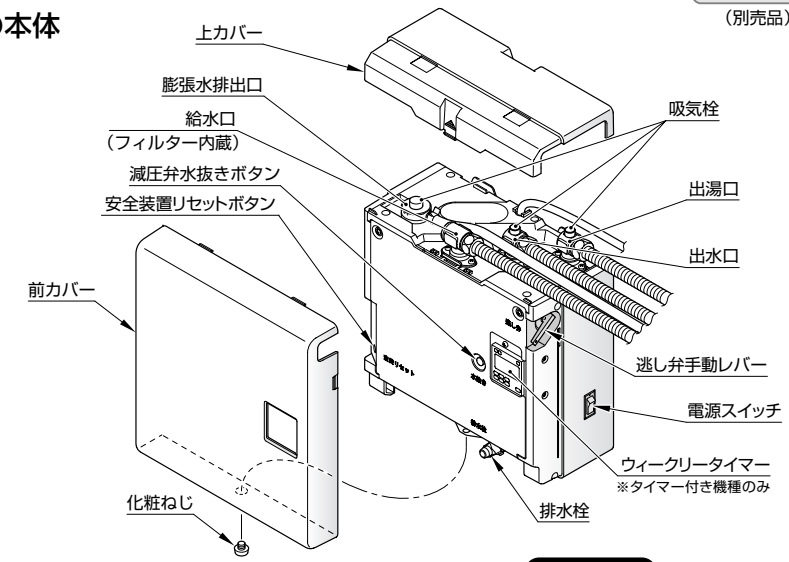
各部のなまえ

●本体周辺部



※イラストはタイマー付き機種です。

●本体

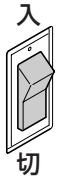


※前カバー・上カバーの取り外し方法は、P8 タンクへの給水 の項目2・3を参照

●本体操作部

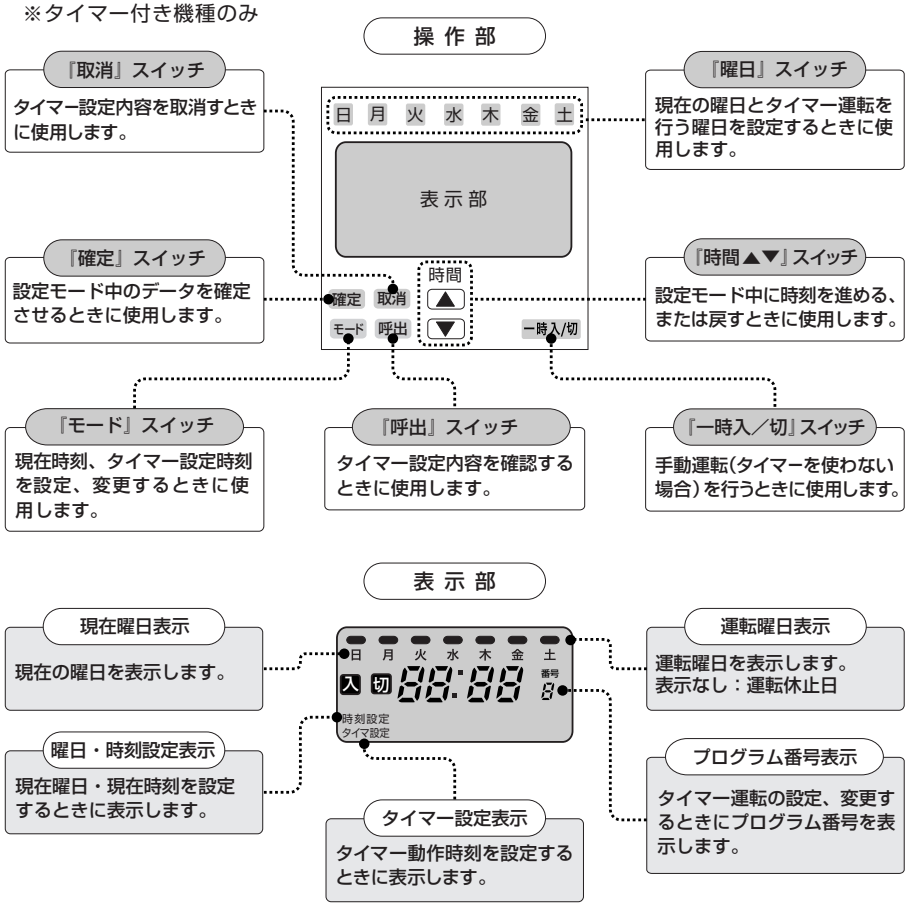
【電源スイッチ】

電源の入／切を行います。
沸かし上げ中のみランプが点灯し、保温状態ではランプが消灯します。



【ウィークリータイマー】

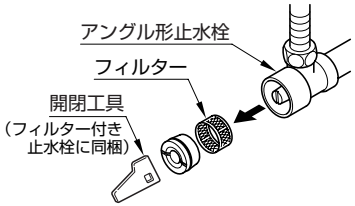
※タイマー付き機種のみ



ご確認ください

●フィルター付きの止水栓が取り付けられていますか?
フィルター付き止水栓を使用しない場合、減圧弁に異物がかみ込み、設定圧力不良など、機器故障の原因となります。

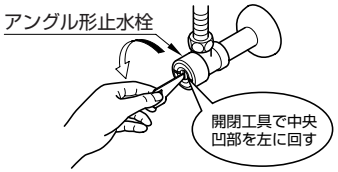
※フィルター付きの止水栓が取り付けられていない場合は、お取付店、お取扱店または、TOTOメンテナンス(株)
TEL 0120-1010-05　FAX 0120-1010-02
にご連絡ください。



タンクへの給水

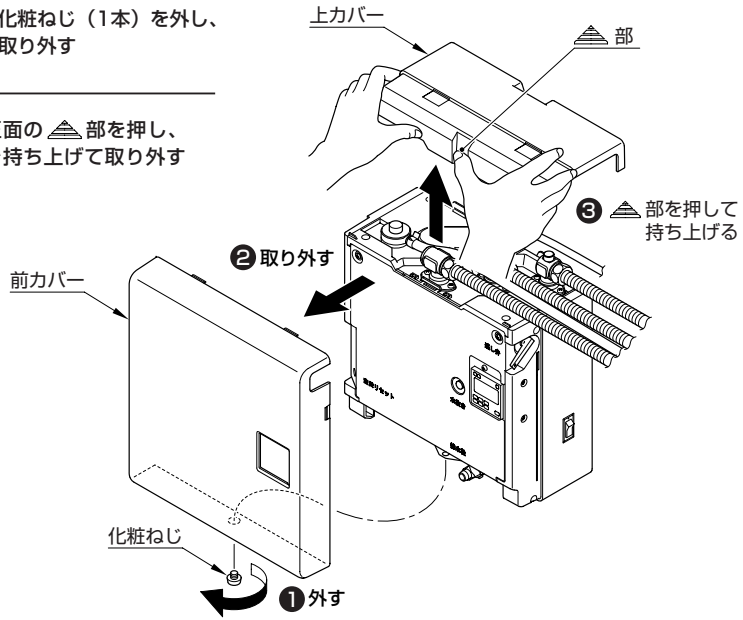
つぎの手順で確実にタンクへ水を入れてください。水が入っていないと空焚きの原因となります。

1 止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開ける



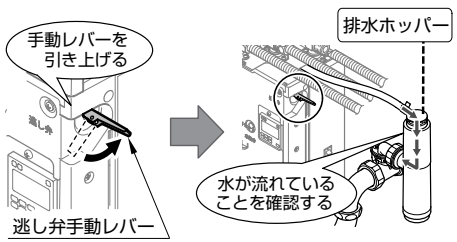
2 本体下側の化粧ねじ(1本)を外し、前カバーを取り外す

3 上カバー正面の △ 部を押し、上カバーを持ち上げて取り外す



4 逃し弁手動レバーを引き上げる
(タンクへの給水が始まり、タンクが満水になると、排水ホッパーに水が流れ始めます。)

【注意】満水になるまで(排水ホッパーに水が流れ始めるまで)の時間は1分以内が目安です。



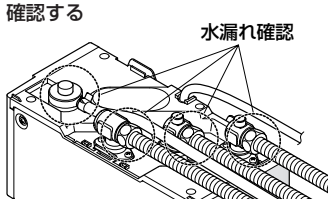
5 逃し弁手動レバーを元に戻して、排水ホッパーの水の流れが止まることを確認する

6 以下にしたがい、水栓から安定して水が出ることを確認する
- 2ハンドル混合栓の場合は、給水ハンドルを閉め、給湯ハンドルを全開にする
- シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側いっぱいにする
- 自動水栓の場合は、スパウトのセンサー部に手を近づけセンサーを作動させる

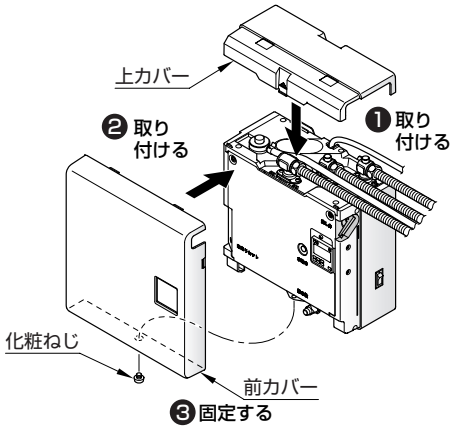
2ハンドル混合栓の場合	シングルレバー混合栓	自動水栓の場合
湯側を全開にする	湯側にする	センサーを作動させる

タンクを満水にした後に確認してください

7 連結管接続部から水漏れがないことを確認する



8 上カバー、前カバーを取り付け、化粧ねじで前カバーを固定する



湯の沸かしかた

はじめに

1 電源スイッチが『切』になっていることを確認し、電源プラグを差し込む

電源スイッチが『切』になっていることを確認する
（空焚きとなり、故障・事故の原因となります。）

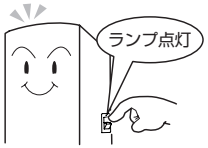
2 タイマーで運転曜日と時間帯を確認してください。

●タイマーの初期設定は次のようになっています。
※右記時間帯以外は、ヒーターが切れた状態になります。
この間で湯を使われたい場合にはタイマーの設定を変更してください。なお、タイマー設定を変更する場合はP12～P19をご参照ください。

運転曜日	月曜日～土曜日
運転時間	6：30～18：30

3 電気温水器本体の電源スイッチを『入』にする

電源スイッチのランプが点灯し、ヒーターに通電されます。
※タイマーが運転時間帯の場合および手動運転中であればランプが点灯し、沸かし上げを開始します。
沸かし上げ後、保温状態のときはランプが消灯します。



タンク内に水がないときは、電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障・事故の原因となります。）

4 沸き上がると自動的に通電が止まり、湯が使える状態になる

※下表の時間で湯が沸き上がります。
<沸き上がり時間の目安>

給　水　温　度	5℃	15℃	25℃
沸き上がり時間の目安	約24分	約19分	約14分

<出湯温度の目安>（沸き上がり直後の場合）

出湯温度の目安	約36℃

※湯が沸き上がると電源スイッチのランプは、消灯します。
※湯温が下がると再びヒーターに通電され、電源スイッチのランプが再点灯します。

湯は飲料用に用いない。
（下痢・腹痛などを起こす場合があります。）

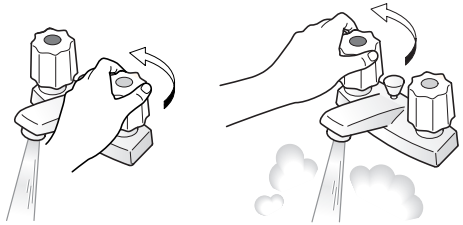
湯の出しかた

湯を出し始める時は、必ず水を出しながら湯を出す
（湯だけを出すと熱湯でやけどをしたり、洗面器などが破損するおそれがあります。）

2ハンドル混合栓の場合

2ハンドル混合栓の場合、
まず水側を開けた後に、湯側を開けて
温度を調節してください。

1．水側を開ける　2．湯側を開ける

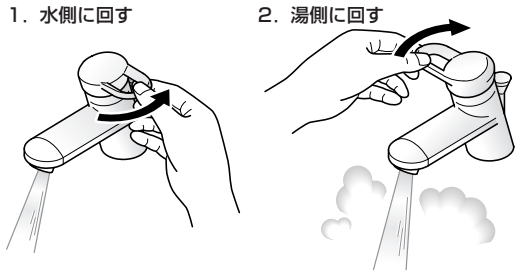


使用後は必ず湯側から閉める
（水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。）

シングルレバー混合栓

シングルレバー混合栓の場合は、
温度調節レバーを水側にして、
吐水しながら湯側にレバーを回し、
温度を調節してください。

1．水側に回す　2．湯側に回す



自動水栓の場合

1. 吐水口に手を近づける
センサーが感知して湯（水）が出ます。

2. 手を離す
手を離すと1～2秒後に止まります。手を近づけたままでも約1分経過すると自動的に止まります。さらに、湯（水）を出したい場合は、一度手を離し再度近づけてください。

タイマー運転のしかた（タイマー付き機種のみ）

1. 現在曜日、現在時刻の設定のしかた

タイマー運転は、湯を沸かす日（曜日）と時間を設定でき、ご希望の日（曜日）、時間に自動的に湯を沸かすことができます。

現在曜日を設定する

1 モード を2秒間押し、『時刻設定』表示に切り替える
※曜日が点滅します。

2 曜日スイッチを押し、曜日を選択する
例）月曜日の場合は、月 を押します。

3 確定 を押す
※曜日が確定し、時刻が点滅します。

現在時刻を設定する

4 時間 ▲ ▼ で現在時刻に合わせる
※分の繰上げ、繰下げによる設定で、1分毎に時間が変わります。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

現在曜日、現在時刻の設定を終了する

5 確定 を押す
※時刻が確定し、通常運転に戻ります。

タイマー使用上の注意

- 現在曜日、現在時刻の設定変更後は必ず 確定 を押して設定を確定させてください。
- 現在曜日、現在時刻およびタイマー、設定中に1分間スイッチ操作がないと通常運転に戻ります。
- 途中で設定を抜けるときは モード を3回押してください。
- 時計は24時間表示です。

2. タイマー設定のしかた

- タイマー運転で動作する時間帯を最大8つ（番号1～8）まで設定できます。
- 番号1の初期設定は、入：月曜日～土曜日　6：30　切：月曜日～土曜日　18：30になっています。
- 動作時刻が設定されていないと ーー：ーー が表示されます。
- 曜日をまたがったり、曜日別の動作時間設定も可能です。

連続運転する場合は、19ページ 例7 をご覧ください。

運転開始（タイマー 入 ）時刻を設定する

1 モード を2秒間押し、『時刻設定』表示にし、もう一度 モード を押す
※『タイマー設定』に切り替わります。
番号1が表示され、番号1の設定を行っていることを表示します。

2 『入』にしたい曜日スイッチを押す
※押された曜日▬が点滅します。
点滅している曜日を押すと選択が解除されます。

例）すでに月～土▬が点滅している時に月を押すと、月▬の点滅が消え、解除されます。

3 確定 を押す
※『曜日▬』が点灯し、時刻が点滅します。

4 時間 ▲ ▼ で設定したい時刻に合わせる
※1分毎に設定できます。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

5 『確定』スイッチを押す
※『切曜日▬』が確定します。

次ページへつづく

2. タイマー設定のしかた

運転終了(タイマー 切)時刻を設定する

6 **『切』にしたい曜日スイッチを押す**

※押された曜日▬が点滅します。
点滅している曜日を押すと選択が解除されます。
例）すでに月～土▬が点滅している時に月を押すと、月▬の点滅が消え、解除されます。

7 **確定 を押す**

※『曜日▬』が確定し、時刻が点滅します。

8 **時間 ▲ ▼ で設定したい時刻に合わせる**

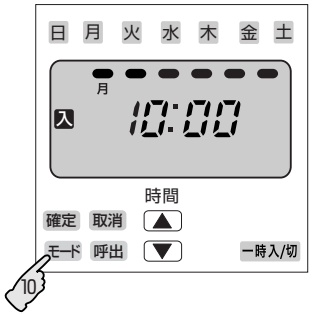
※1分毎に設定できます。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

9 **確定 を押す**

※『切』時刻が確定し、番号1が確定します。
つぎの番号2の『入』曜日設定に移行します。

更にタイマー設定を行う場合は 2 ～ 9 の手順で設定してください。番号8まで設定できます。

タイマー設定を終了する



10 **モード を2回押す**

※タイマー設定を終了し、通常運転に戻ります。

3. タイマー設定の変更のしかた

タイマー入切曜日、時刻を変更する

1 **モード を2秒間押し、『時刻設定』表示にし、もう一度 モード を押す**

※『タイマ設定』『番号1』『入』が表示され『曜日▬』が点滅します。

2 **設定変更したい番号、入/切曜日、時刻まで 確定 を押し、進める**

例）番号1の切曜日を変更する場合は2回押します。

3 **曜日の場合は曜日スイッチ、時刻の場合は 時間 ▲ ▼ で設定したい曜日、時刻に変更する**

※1分毎に設定できます。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

4 **更に変更したい番号の入曜日設定になるまで 確定 を押す**

例）番号1の『切』曜日を変更する場合は2回押すと番号2の『入』曜日設定になります。

タイマー設定の変更を終了する

5 **モード を2回押す**

※タイマー設定を終了し、通常運転に戻ります。

4. タイマー設定の消去のしかた

タイマー入切曜日、時刻を消去する

1 モード を2秒間押し、『時刻設定』表示にし、もう一度 モード を押す

※『タイマー設定』に切り替わります。

2 消去したい番号の『入曜日設定』を表示するまで 確定 を押し、進める

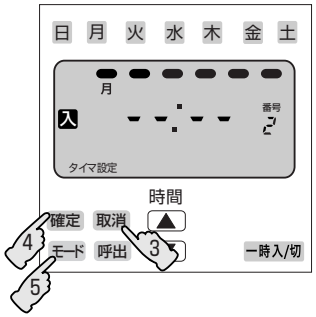
例）番号2を消去する場合は4回押す。

3 取消 を押す

※『入』曜日▬が点滅し、時刻表示が－－：－－になります。

4 確定 を押す

※取消を確定し、次の番号の『入』曜日設定に移行します。



タイマー設定の消去を終了する

5 モード を2回押す

※タイマー設定を終了し、通常運転に戻ります。

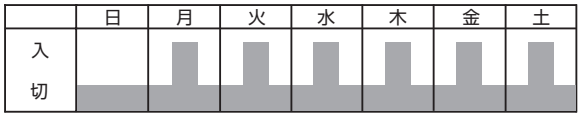
5. タイマー運転の設定例

例1：月曜日～土曜日　6：30～18：30入の場合

タイマー入　月～土を選択、6：30

タイマー切　月～土を選択、18：30

●動作パターン



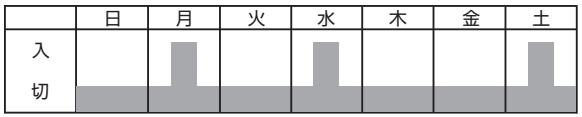
●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す

例2：月曜日、水曜日、土曜日　6：30～18：30入の場合

タイマー入　月、水、土を選択、6：30

タイマー切　月、水、土を選択、18：30

●動作パターン



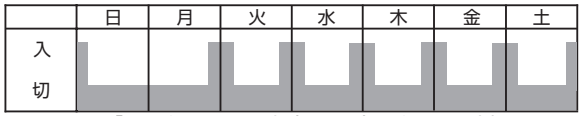
●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す

例3：月曜日～土曜日　18：30～6：30入の場合（最後は日曜日の6：30）

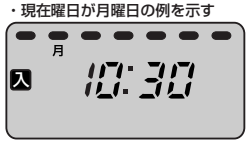
タイマー入　月～土を選択、18：30

タイマー切　火～日を選択、6：30

●動作パターン



●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す



※タイマーの「入」が曜日をまたぐ場合は曜日表示が両日とも点灯します。

5. タイマー運転の設定の例

例4：月曜日の6：30～18：30のみ切で後は入の場合

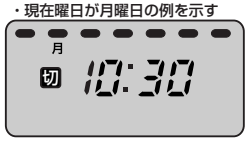
タイマー入　月を選択、18：30

タイマー切　月を選択、6：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切							

●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す



例5：月曜日6：30～金曜日18：30が入の場合

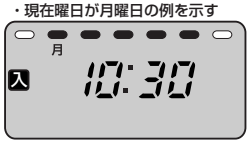
タイマー入　月を選択、6：30

タイマー切　金を選択、18：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切							

●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す



例6：月曜日6：30～水曜日18：30、金曜日6：30～土曜日18：30が入で後は切の場合

タイマ番号1

タイマー入　月を選択、6：30

タイマー切　水を選択、18：30

タイマ番号2

タイマー入　金を選択、6：30

タイマー切　土を選択、18：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切							

タイマ番号1の動作　タイマ番号2の動作

●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す

5. タイマー運転の設定例

例7：連続運転する場合

タイマー入　日を選択、0：00

タイマー切　土を選択、23：59

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切							

土曜日の23：59～日曜日の0：00までの1分間は切になります。

●運転中の表示例
・現在曜日が月曜日の例を示す

その他
・現在時刻を設定しなおした場合、設定された現在時間がタイマー運転の入時間帯にある場合は入動作を行い、切時間帯にある場合は切動作を行います。
・タイマー設定を行った場合、現在時刻が設定されたタイマー時間の入時間帯にある場合は入動作を行い、切時間帯にある場合は切動作を行います。

6. タイマー設定内容の確認のしかた

●設定されている番号の、入/切曜日、入/切時刻が確認できます。

タイマー内容の呼出をする

1 呼出 を押す

※タイマー設定の番号1入の内容が表示されます。

※ 呼出 を押していくと順番に番号1切、番号2入・・・が表示されます。

※設定がない番号は表示されません。

※運転表示に戻す場合は、呼出 を2秒間押してください。

7. 手動運転のしかた

手動運転は、一時的に運転開始または運転停止ができます。

タイマー運転『切』のとき一時的に運転を開始する

1 一時入/切 を押し、
『入』の表示に切り替える
『切』にするには、もう一度押す

タイマー運転『入』のとき一時的に運転を停止する

1 一時入/切 を押し、
『切』の表示に切り替える
『入』にするには、もう一度押す

手動運転時の注意

- 一時入/切 で一時的に運転／停止した場合、タイマーの設定曜日、時刻になると自動的にタイマー運転に切り替わります。
- 連続運転する場合はタイマーの設定変更を行ってください。
（「タイマー運転の設定例7」P19参照）

各部のお手入れ

汚れがひどいときなど

湯ぽっと本体のお手入れ

通常は、水でぬらした柔らかい布をよくしぼってふいてください。
汚れがひどいときは、適量にうすめた家庭用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふきとった後、水ぶきを行ってください。

機器本体に水をかけない
(感電や火災の原因になります。)

—ご注意—
- 「酸性」・「アルカリ性」の表示のある洗剤およびたわし、クレンザーなどの使用は、本体を傷めますので絶対にやめてください。
- 本体はプラスチックでできていますので乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
傷つきの原因になります。

1回／月

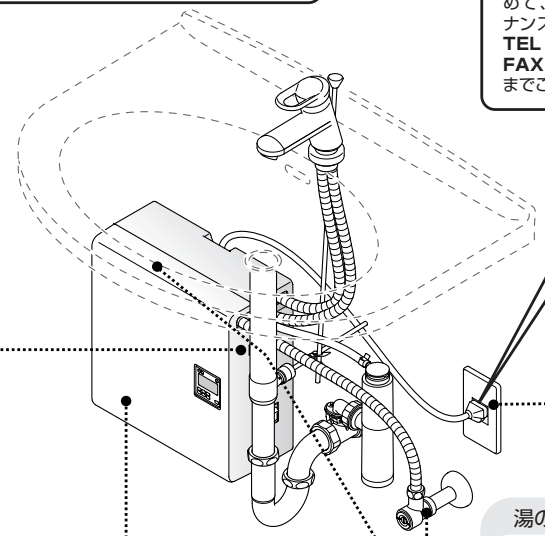
逃し弁の作動確認

逃し弁が作動しないとタンクに異常な圧力がかかり破損の原因になります。**月に1回**、逃し弁の作動確認を行ってください。（P23参照）

日常の確認

水漏れ確認

ご使用の際、電気温水器周辺に水漏れおよび水漏れの形跡がないことを確認してください。
水漏れなどが確認された場合は止水栓を閉めて、お取付け工事店または、TOTOメンテナンス（株）
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02
までご連絡ください。



お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

1回／月

電源プラグのお手入れ

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

1回／3ヶ月

タンク内のお手入れ

長期間の使用でタンク内が水あかなどで汚れることがあります。
3ヶ月に1回、タンク内の水を抜き、タンク満水、水抜きを2･3回くり返して清掃してください。
（お手入れ方法は、P24･25参照）

湯の量が少なくなったとき

止水栓フィルター/給水口フィルターのお手入れ

ご使用中フィルターにゴミなどが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因になります。
出る湯（水）の量が少なくなったら、お手入れを行ってください。（お手入れ方法は、P22参照）

フィルターのお手入れ

● 止水栓フィルターおよび給水口フィルターが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因となります。出る湯（水）の量が少なくなったら、次の手順でフィルターの掃除を行ってください。

清掃手順

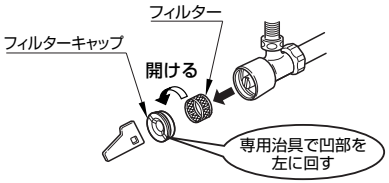
1 フィルターを掃除する前に

①電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜く
②止水栓に付属の開閉工具で止水栓を閉める
③逃し弁手動レバーを引き上げる

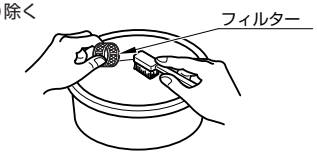
2 フィルター掃除

【止水栓フィルターのお手入れ】

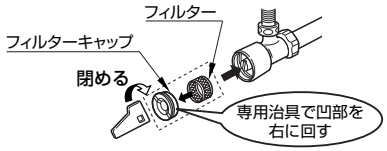
①フィルターキャップを外し、フィルターを取り外す



②フィルターの網目に詰まったゴミをブラシなどで取り除く

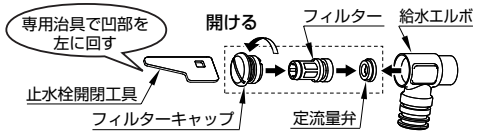


③フィルターをフィルターキャップに差し込み、フィルターキャップを止水栓に取り付ける



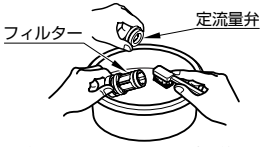
【給水口フィルターのお手入れ】※給水口フィルターの位置はP6を参照

①止水栓開閉工具でフィルターを回し、定流量弁、給水口フィルターを取り外す

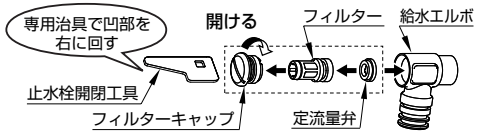


定流量弁は分解しないでください

②フィルターの網目および定流量弁に詰まったゴミをブラシなどで取り除く



③フィルター、定流量弁をフィルターキャップに差し込み、フィルターキャップを給水エルボに取り付ける



※定流量弁は必ず付けてください。
（取り付けないと製品が故障する可能性があります。）

3 フィルター掃除後の確認

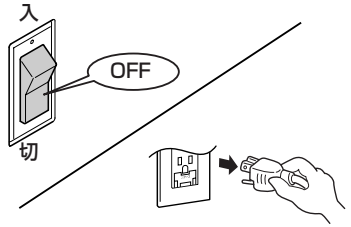
①逃し弁手動レバーを元に戻す
②止水栓を開け、止水栓および給水口から水漏れのないことを確認する
③電源プラグを差し込み、電源スイッチを『入』にする
※フィルターを交換する場合はP32を参照

逃し弁の作動確認

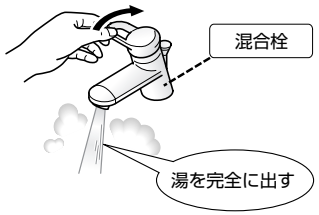
● 逃し弁が作動しないとタンクに異常な圧力がかかり破損することがあります。月に1回、逃し弁の作動確認を行ってください。

確認手順

1 電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜く



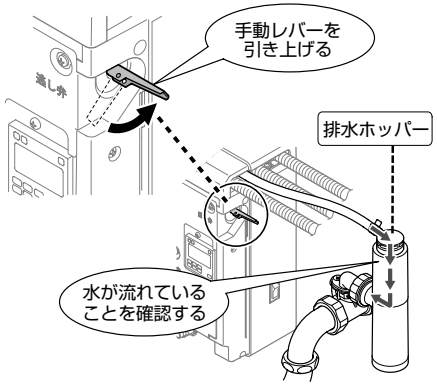
2 混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出す



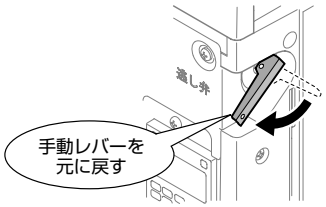
湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す
（湯だけを出すと熱湯でやけどをしたり洗面器などが破損するおそれがあります。）

3 本体下側の化粧ねじ（1本）を外し、前カバーを取り外す
（P8「タンクへの給水」の項目2を参照）

4 逃し弁手動レバーを引き上げ、排水ホッパーから水が出ることを確認する



5 手動レバーを元に戻して水が止まることを確認する



6 前カバーを取り付け、化粧ねじでカバーを固定する

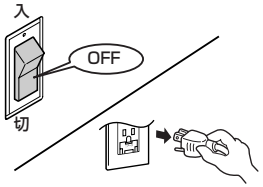
7 電源プラグを差し込み、電源スイッチを『入』にする

タンク内のお手入れ

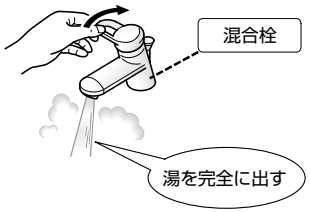
● 長期間の使用でタンク内が水あかなどで汚れることがあります。
3ヶ月に1回、タンクの水を抜き、水がきれいになるまで給水、排水を繰り返して清掃してください。

水抜き手順

1 電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜く



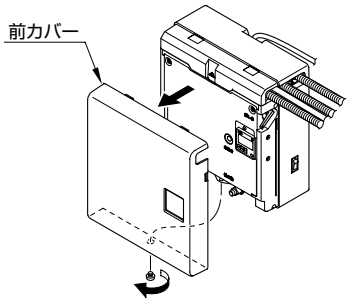
2 混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出す



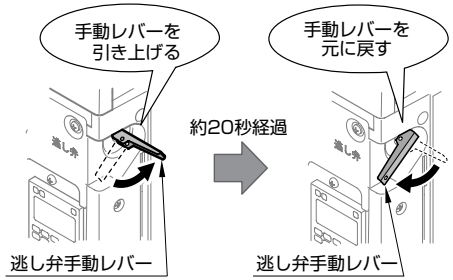
※水になりましたら、混合栓を閉めてください。

> 湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出すようにする
> （湯だけ出すと熱湯でやけどしたり洗面器などが破損するおそれがあります。）

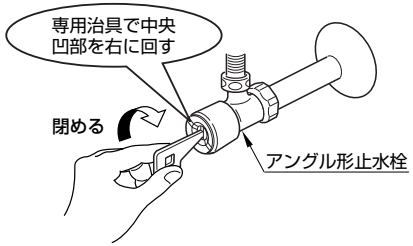
3 本体下側の化粧ねじ（1本）を外し、前カバーを取り外す



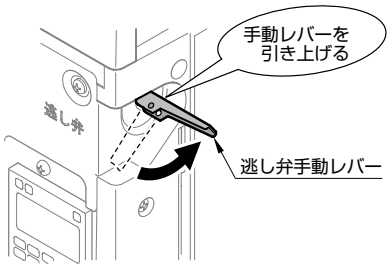
4 逃し弁手動レバーを引き上げ、約20秒程度排水ホッパーへ水を流してから、逃し弁手動レバーを元に戻す



5 止水栓を閉める



6 逃し弁手動レバーを引き上げる



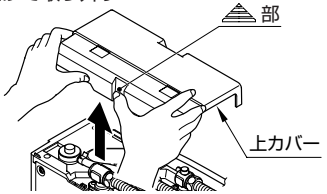
次ページへつづく

7 排水栓に付属のホースを取り付け、矢印の方向に排水栓をまわして水を抜く

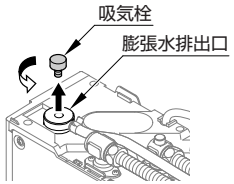
※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
※約3Lの水が排出されます。
受け皿があふれそうな場合は、逃し弁手動レバーを元に戻すと排水は止まります。
※水が抜ける時間は約3分程度です。

【水が抜けにくい場合は以下の操作を実施ください】

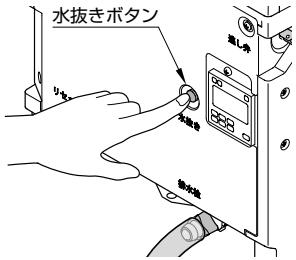
①上カバー正面の △ 部を押し、上カバーを持ち上げて取り外す



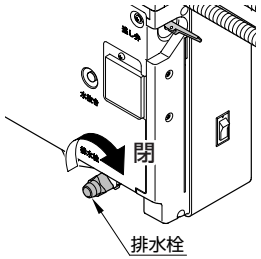
②膨張水排出口の吸気栓を開ける



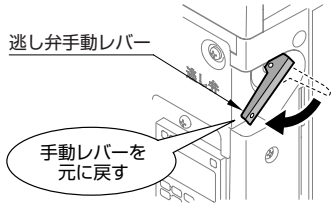
8 減圧弁の水抜きボタンを押し、配管及び減圧弁内の水を排水栓より抜く



9 水抜きが終わりましたら、排水ホースを外して排水栓を閉める



10 逃し弁手動レバーを元に戻す



11 膨張水排出口の吸気栓を閉める

12 タンクに水を入れる
（タンクへの給水方法はP8～9参照）
排水栓や吸気栓近くからの水漏れがないことを確認する
また、排水ホッパーへ水が排出されないことを確認する

13 上カバーを取り付ける
次に前カバーを取り付け、化粧ねじでカバーを固定する
（カバーの取り付け方法はP9の8を参照）

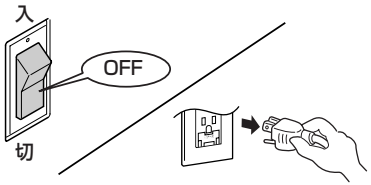
14 電源プラグを差し込み、電源スイッチを『入』にする

長期間使用しないとき

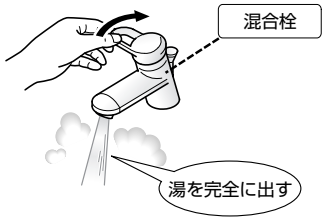
●長期間ご使用にならないときは、次の手順で水抜きを実施してください。

水抜きの方法

1 電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜く



2 混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出す

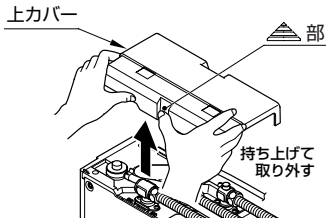


※水になりましたら、混合栓を閉めてください。

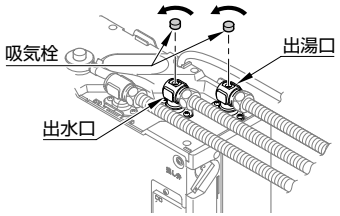
湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す
（湯だけを出すと熱湯でやけどをしたり洗面器などが破損するおそれがあります。）

3 P24～25の「水抜き手順」3～8にしたがって本体内の水を抜く

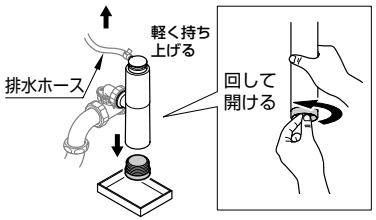
4 上カバー正面の △ 部を押し、上カバーを持ち上げて取り外す
（P25の7で上カバーを外している場合は、当作業は不要。）



5 出湯口、出水口の吸気栓を開けて連結管内の水抜きを行う



6 排水ホッパーの水抜きキャップを開けて、排水ホッパー内の水を抜く



※水抜きキャップを開ける際は排水ホッパーを手でしっかり持つようにする
※排水ホースがたるんでいる場合軽く持ち上げホース内の水も抜く

水抜き後の処理

●水抜き後、次の手順で処置を行ってください。

1 逃し弁手動レバーを元の位置に戻す

2 出湯口、出水口、膨張水排出口の吸気栓および排水栓を閉める

3 排水ホッパーの水抜きキャップを閉める
※排水ホッパー本体をしっかり持つこと

4 上カバー、前カバーを取り付け化粧ねじで固定する
※次に水を入れるときはP8「タンクへの給水」を参照

凍結による破損予防について

●凍結のおそれがある場合は、次のどちらかの方法で機器の凍結予防の処置を行ってください。

ヒーター通電による方法

タンク内の水抜きを行わない場合は、電源スイッチを『入』にしておいてください。
また、必要に応じて各配管に保温材または、ヒーターを巻いてください。

水抜きによる方法

水抜きの方法（P26）にしたがい、タンク内の水を抜いてください。

停電後の対応について

●タイマーには設定内容を記憶するために電池が内蔵されています。
停電後、タイマー表示部の現在曜日、現在時刻をご確認ください。（タイマー付き機種のみ）

現在曜日、現在時刻が正しい場合

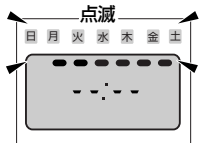
そのままご使用いただけます。

現在曜日、現在時刻が異なる場合（下図のような表示が点滅している場合）

次の手順で設定を行ってください。

1 現在曜日、現在時刻を設定してください。（P12）

2 タイマー設定は初期設定に戻っております。
再度、タイマー設定してください。（P13・14）



故障かな？と思ったら

現　象	確　認　項　目	処　置　方　法
湯が沸かない。 湯にならない。	電源プラグが完全に差し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	元電源が入っていますか？	ブレーカを入れてください。
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチを入れてください。(P10参照)
	タイマーの設定が運転時間帯になっていますか？（タイマー付き機種のみ）	タイマーで運転時間帯の設定を変更してください。（P15参照）
	タンクが空の状態で電源スイッチを入れていませんか？	空焚きによる安全装置作動時のリセット方法について（P30）を参照下さい。
	停電していませんか？	停電していないことを確認してください。
湯も水も出ない。 湯量が少ない。	止水栓が完全に開いていますか？	止水栓を開けてください。
	フィルター付き止水栓のフィルターが詰まっていませんか？	フィルターの掃除を行ってください。（P22参照）
	断水していませんか？	断水していないことを確認してください。
水漏れしている。	機器本体からの水漏れですか？	止水栓を閉めて、電源プラグを抜き、お取付工事店または、 TOTOメンテナンス（株）に相談してください。 **TEL 0120-1010-05** **FAX 0120-1010-02**
	配管接続部からの水漏れですか？	水漏れ箇所を締め直してください。
膨張水排水口から水が流れ続ける。	止水栓フィルターが詰まっていませんか? 逃し弁にゴミが付着していませんか?	フィルターの掃除を行い（P22参照）、逃し弁手動レバーを引き上げ、1分間ほど水を流し続けてください。（P23参照） 何回か繰り返しても止まらない場合は、 お取付工事店または、 TOTOメンテナンス（株）に相談してください。 **TEL 0120-1010-05** **FAX 0120-1010-02**

故障かな？と思ったら

現　象	確　認　項　目	処　置　方　法
湯が汚れている。	タンク内や配管に工事の際の油や金属粉が残っていませんか？	タンク内の水を入れ換え清掃してください。（P24・25参照） フィルターの掃除を行ってください。（P22参照）
水の出方が安定していない。	タンク内が満水になっていますか？	タンクが満水になるまで給水してください。（P8参照）
タイマーの画面表示が消えている。	停電または通電停止（電源プラグ「抜」）していませんか？	停電復帰または電源プラグをコンセントに差し込むと表示されます。
ブレーカーが作動する	ブレーカーの容量を超えていませんか？	ブレーカーの容量をあげるか、他の電気商品の使用をお控えください。

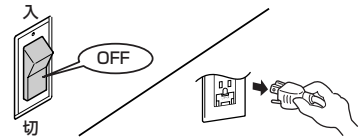
つぎのような場合は故障ではありません

現　　象	理　　由
手洗いの途中で水になる。	連続して湯を使うと、湯がぬるくなります。本製品は、タンクに貯めた湯を使用するため、連続して使用された場合は、沸かし上げに時間がかかります。
冬場に使用するとなかなか湯が出ない。 沸かし上げに時間がかかるようになった。	冬場は、水温が低いため、湯温の低下が著しくなり沸かし上げに時間がかかるためです。
電源スイッチのランプが消灯している。	タンク内の水が沸き上がると電源スイッチのランプは消灯します。
膨張水排出口より排水ホッパーへ湯がポトポト滴下する。	タンク内の水が温められ膨張し、高圧になり、逃し弁が作動したためです。
湯が臭う（甘酸っぱい臭いがする）	配管工事用の接着剤の臭いと思われます。 しばらくの間使用していると、徐々に解消されます。

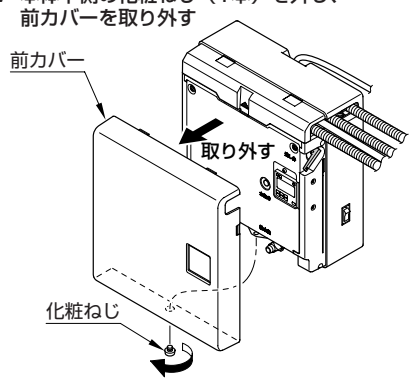
空焚きによる安全装置作動時のリセット方法について

タンクが空の状態で電源スイッチを入れると空焚きとなり安全装置が作動します。その場合は以下の手順で安全装置を解除してください。

1 電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く

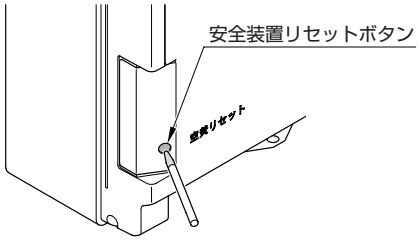


2 本体下側の化粧ねじ（1本）を外し、前カバーを取り外す



3 P8「タンクへの給水」にしたがってタンク内を満水にする

4 安全装置リセットボタンをペン先で押す



5 前カバーを取り付け、化粧ねじ（1本）で固定する

6 電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にする

アフターサービス

点検・修理を依頼される前に「故障かな？」を見て、もう一度ご確認ください。

保証書（この説明書のP33が保証書になっています）

- この商品は保証書の内容にしたがって保証されています。取付日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間中を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

アフターサービス

点検・修理を依頼される前に「故障かな？」を見て、もう一度ご確認ください。

部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品はTOTO（株）の所有となります。

減圧弁・逃し弁の定期交換について

減圧弁･逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので定期的に交換してください。（有料）
商品の寿命における、一般的な交換時期のめやすは以下の通りです。
なお、交換については、お取付店またはTOTOメンテナンス（株）に相談してください。

TEL 0120-1010-05　　FAX 0120-1010-02

※減圧弁･逃し弁の位置については「各部のお手入れ」（P21）をご覧ください。

部品名	交換時期のめやす（お取付日より）	交換の理由
逃し弁	5年	長期間使用すると、水質･わき上がり温度･使用頻度など使用する条件によって変わりますが、弁体部が水中のスケールによって動かなくなったり、腐食し水漏れしたりすることがあります。水漏れが起きた場合、大きな被害を与えることがあります。
減圧弁		

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えての必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後7年です。

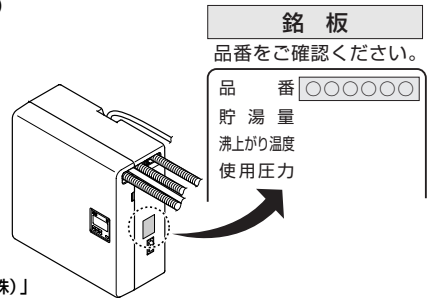
修理を依頼されるときは

【修理依頼先】
お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）

【ご連絡いただきたい内容】
①住所、氏名、電話番号　②商品名
③品番　④取付店
⑤故障内容、異常の状況（どこから水漏れしているかなど）
⑥訪問希望日

【お客様の個人情報のお取り扱い】
お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳細はTOTOホームページ（http://www.toto.co.jp/）をご覧ください。

【ご不明な店や修理に関するお問い合わせ先】
「TOTO（株）お客様相談室」または「TOTOメンテナンス（株）」



修理料金のしくみについて

修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 訪問料金 で構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品代です。
訪問料金 は、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

補修用性能部品について

以下の補修用性能部品はお客様がご自分でお取り替えできます。

部品名	フィルター付き止水栓用 フィルター
形状	
品番	66435R
価格	¥200（税込¥210）
備考	—

・品番・価格は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
・お客様がご自分で交換できる部品は上表の部品のみです。その他の部品は修理技術者の方へご依頼ください。
・補修用性能部品をご購入するときは、「TOTOメンテナンス（株）」「TOTOパーツセンター」にお問い合わせください。

●フリーダイヤルでのご注文
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
●インターネットでのご注文
http://www.toto.co.jp/

仕様一覧表

機種品番		REW03E1FA	REW03E1F1A
貯湯量		約3L	
定格	電圧	単相100V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	0.6kW	
給水方式		先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵）	
出湯温度		約36℃（給水温度が5℃～30℃のとき:約30℃～40℃、混合バルブ内蔵）	
主要部品	温度調節器	バイメタル式	
	タイマー	ウィークリータイマー（停電保証機能付き）	——
	ヒーター	シーズヒーター	
	減圧弁	設定値：0.08MPa	
	逃し弁	吹始め圧力：0.095MPa 吹止まり圧力：0.087MPa以上	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル	
	アース	電源プラグアース付き	
製品寸法		幅285mm×奥行130mm×高さ300mm	
電源プラグ		差込型 接地極付2P	
製品質量（満水時質量）		約7kg（約10kg）	
電源コード		0.7m	
使用条件	使用環境温度	1℃～40℃	
	使用水	水道水	
	使用水圧	0.05～0.75MPa （自動水栓との接続の場合　0.1～0.75MPa）	

TOTO®

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から下記保証期間中に故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、お取付工事店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）（フリーダイヤル TEL 0120－1010－05・FAX 0120－1010－02）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ　様	
	おところ 〒	
お取付工事店名	〒　TEL　㊞	
お取付日	年　月　日	
品番		

保証対象機種品番	REW-Fシリーズ REW03E1FA REW03E1F1A
保証期間	お取付日から1ヵ年

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、品番、お取付年月日、お取付工事店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体張付ラベルなどの注意書にしたがって正常な状態で保証期間内に故障した場合には、保証期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に損傷して無料修理を受ける場合は、お取付工事店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお取付店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTOメンテナンス（株）にご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書による補償範囲は機能部およびその付属品のみで、排水配管類は含みません。
7. 保証期間内でもつぎの場合には有料修理となります。
   （1）一般的な洗面器以外（例えば業務用での使用または車両・船舶への搭載など）で使用した場合の不具合。
   （2）空焚きなど、お客様が取扱説明書に記載された手順や注意を守らなかったことによる不具合や、お手入れを行わなかったことによる不具合。
   （3）メーカーが定める工事説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・修理・改造などに起因する不具合。
   （4）建築躯体の変化などに起因する不具合、また塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
   （5）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
   （6）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
   （7）火災・爆発など事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波など天変地異、凍結、または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
   （8）日常のお手入れ箇所（水抜栓やフィルターなど）のOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
   （9）乾電池・コマパッキンなどの消耗による不具合。
   （10）電気・給水の供給トラブルなどに起因する不具合。
   （11）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いに起因する不具合。
   （12）給水・給湯配管の錆や砂・ゴミなど異物流入に起因する不具合。
   （13）温泉水、井戸水などの水道水以外の水を供給したことに起因する不具合。
   （14）輸送・搬入・移動などの落下や転倒、接触などに起因する不具合。
   （15）本書の提示がない場合。
   （16）本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
8. 部品の交換について　無料修理により交換された部品・製品はTOTO（株）の所有となります。
9. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保存してください。

サービス記録

年月日	サービス内容	担当者

※この保証書は本書に明示した保証期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱説明書裏表紙に記載のTOTOフリーダイヤルまでお問合わせください。

TOTO株式会社
〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室 TEL 0120(03)1010